

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 14 日現在

機関番号：32675

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2020～2022

課題番号：20H01512

研究課題名（和文）中国社会保障政策の経済分析：マイクロデータに基づく実証研究

研究課題名（英文）Economics Analyses on Social Security Policies in China: Empirical Studies Based on Survey Data

研究代表者

馬 欣欣 (Ma, Xinxin)

法政大学・経済学部・教授

研究者番号：80634253

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 10,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、大規模な中国マイクロデータおよび独自の企業調査による企業従業員マッチングデータを構築したうえで、最先端の分析手法を用い、社会保障制度の4つの効果（1）家計消費・貯蓄効果、（2）家計労働供給効果、（3）企業の賃金・雇用に与える影響（社会保険負担転嫁効果）、（4）所得格差の是正や幸福度・健康など（社会厚生効果）に関する、包括的・先駆的な実証研究を行った。研究成果として、21本の論文が海外・国内査読付学術ジャーナルに公開されている。また、欧文学術図書7冊がSpringerやPalgrave Macmillanなどの出版社より出版されている。学会で特別セッションを設けて研究成果を発信した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

第1に、本研究は、初めて日本で中国社会保障の経済分析に関する大規模なマイクロデータベースを構築した。第2に、本研究は、中国社会保障の経済分析に関する包括的・先駆的研究として、構築したマイクロデータに基づいて、最新の計量分析手法を応用し、諸理論仮説の普遍性と特殊性を明らかにした。第3に、構築した中国マイクロデータベースを他の大学・研究機関の研究者達に提供することにより、日本で中国経済に関する教育・研究に貢献できた。第4に、実証研究の結果に基づいて中国社会保障改革に関する政策立案に提言できた。さらに、中国研究から得られた知見は、他の発展途上国、体制移行国および先進国にとって参考になった。

研究成果の概要（英文）：This research project has established the dataset including many kinds of Chinese national household survey data and has conducted an employer-employee matching data based on a new corporate survey. We used the advanced econometric analysis methods to employ the empirical studies and explored the impact of social security policies from four perspectives: (1) the household consumption/saving effect; (2) the household labor supply effect; (3) the effect on Chinese corporates' employment and wage (social insurance payroll tax effect); (4) the effect on income inequality, happiness and health status (social welfare effect). 21 research papers have been published in English peer-reviewed academic journals; 7 academic books have been published by Springer and Palgrave Macmillan Publishers. A special session has been set up at an academic conference to report the research results.

研究分野：労働経済学

キーワード：中国 社会保障 経済分析 家計消費効果 労働供給効果 社会保険料転嫁効果 社会厚生効果

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

(1) 高齢社会に対応する最も重要な社会政策は、社会保障制度である。社会保障制度の実施は最低生活を保障すると同時に、さまざまな面で経済社会に影響を与えるため、制度評価を行う際に、多側面からの経済分析は必要である。日本や欧米などの先進国を対象とした多くの先行研究では、主に4つの効果—①家計/個人の消費・貯蓄に与える影響(消費・貯蓄効果)、②労働供給および家計内の資源配分に与える影響(労働供給効果)、③企業の行動(賃金設定・雇用など)に与える影響(社会保険負担転嫁効果)、④社会厚生(所得格差の是正、幸福度、健康など)に与える影響(社会厚生効果)が検証された。しかし、申請者が本研究プロジェクト申請を行う際に、中国社会保障制度に関する包括的実証研究が少なかった。

(2) 日本や欧米などの先進国に比べ、中国社会保障制度は異なる特徴を持つ。たとえば、現在実施される社会保障制度は、計画経済期の国家保障制度から改革されたものであり、就業部門(国有企業・非国有企業)や戸籍(都市・農村)によって社会保障制度の仕組みが異なっている。中国制度の異質性を考慮した実証研究が重要な課題となった。

2. 研究の目的

本研究は、中国社会保障の経済分析に関するマイクロデータベースの構築、先駆的な分析とその成果の世界的発信と旨とする。本研究は、大規模な中国マイクロデータおよび独自の企業調査による企業—従業員マッチングデータを構築したうえで、最先端の分析手法を用い、社会保障制度の4つの効果—①消費・貯蓄効果、②労働供給効果、③社会保険負担転嫁効果、④社会厚生効果に関する、包括的・先駆的な実証研究を行う。諸理論仮説の普遍性と特殊性を検証し、中国社会保障制度に関する新たな知見と政策示唆を示す。

3. 研究の方法

(1) 複数の中国家計調査のデータ(中国家計所得調査、中国家庭パネル調査、中国高齢者の健康と退職パネル調査、中国健康と栄養パネル調査)を取得し、中国社会保障の経済分析に関するマイクロデータベースを構築した。また、中国政府公表データを活用し、地域パネルデータを構築した。

(2) 中国社会科学院人口と労働経済研究所に連絡し、新たな中国企業—労働者マッチング調査を実施し、企業—労働者のマッチングデータセットを構築した。

(3) 経済理論および中国体制移行の特徴を考慮し、仮説を設定し、最先端の分析手法を用い、社会保障制度の4つの効果—①消費・貯蓄効果、②労働供給効果、③社会保険負担転嫁効果、④社会厚生効果に関する、包括的・先駆的な実証研究を行った。

4. 研究成果

(1) 消費・貯蓄効果

Zhao and Ma (2023)は、2001年から2014年までのオリジナルの中国31省パネルデータを構築し、動学的パネルデータの分析手法、および要因分解手法を用いて、公的年金の適用範囲と厚生年金保険制度の代替率が中国都市部の地域消費格差に与える影響を分析した。3つの結論が得られた。第1に、年金加入率は東部地域が中部、西部地域より高いが、年金代替率は中部および西部地域が東部地域より高い。第2に、年金加入率と所得代替率が家計消費に及ぼす影響は地域によって異なる。第3に、2つの要素(属性要素と価格要素の違い)が地域間の消費格差の形成に寄与している。年金受給率と所得代替率の両方が、

東部と他の地域（特に西部）の間の地域消費格差を縮小する効果を持つ。公的年金の適用率を拡大し、後進地域の所得を増加させる政策が、中国の消費格差の縮小に貢献する可能性が示唆されている。

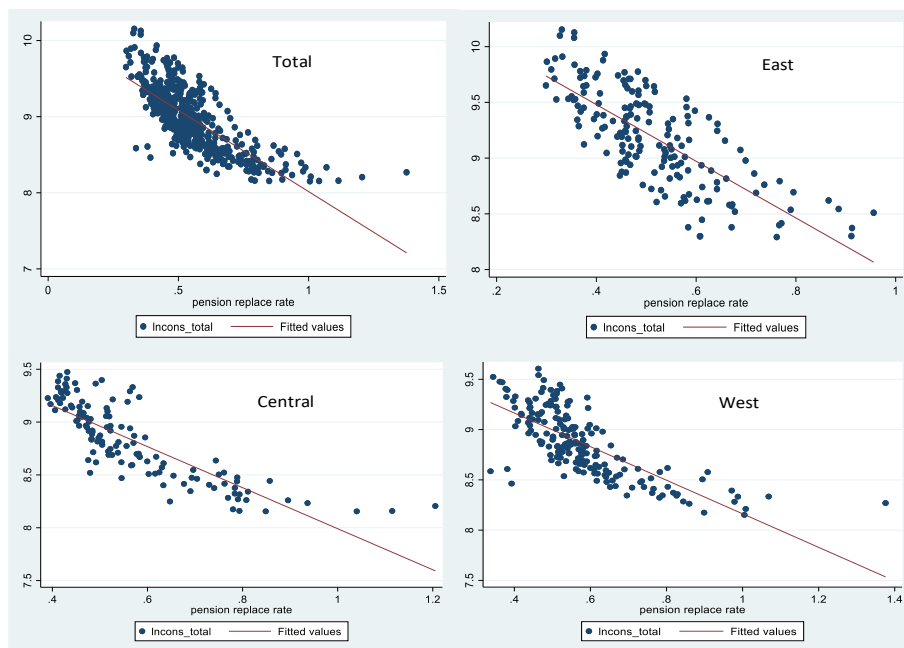


図1 年金代替率と家計消費（全国、東部、中部、西部地域）

出所：Zhao and Ma (2023).

(2) 労働供給効果

中国政府は2009年に農村地域に新たな公的年金（新型農村社会養老保険：「新農保」）を導入した。

まず、Ma (2020) は、2000年から2011年までの中国健康栄養調査 (CHNS) のパネル調査データを用い、準自然実験モデル (Difference in Differences: DID) を活用し、「新農保」は中国農村高齢者の労働供給に与える影響に関する実証研究を行った。5つの主要な結論が得られた。第1に、「新農保」は年金取得者の労働参加の確率を低下させる（労働供給に対する負の効果が存在する）。第2に、短期（2000年から2009年まで）の政策効果と比較すると、長期（2000年から2011年まで）では労働供給の負の効果が小さくなる。第3に、「新農保」は正規労働者になる確率を高める効果を持つ。しかし、非正規労働者、自営業者、無職の間の確率の差は統計的に有意ではない。第4に、「新農保」が東部、中部、西部地域のいずれにおいても労働参加を減少させる効果を持つが、その効果は東部および中部地域よりも西部地域の方が大きい。第5に、「新農保」は女性と男性の両方の労働参加率を低下させる効果を持つが、その効果は男性よりも女性の方が大きい。最後に、頑健性のチェック（たとえば、さまざまなデータセットやプラセボ試験などを使用）により、「新農保」が農村部の高齢者の労働参加を減少させる効果が再度確認された。

また、王・馬 (2022) は、2007年および2013年中国国家計所得調査 (CHIP) のマイクロデータを用い、準自然実験モデル (Difference in Differences: DID) を活用し、「新農保」は中国農村高齢者の労働供給に与える影響に関する実証研究を行った。4つの主要な結論が得られた。第1に、「新農保」は農村中高齢者の労働参加を抑制する。第2に、「新農保」に対する期待効果としては、50歳代の労働市場からの早期退出を誘発する可能性が存在す

る。第 3 に、農村居住者グループでは「新農保」の労働参加の抑制効果が確認されたが、農民工グループではその効果は確認されなかった。第 4 に、「新農保」の効果は、東部、中部、西部地域によって異なる。東部地域では、抑制効果が存在する一方で、西部地域では促進効果が存在する。大多数の先進国を対象とした実証分析の結果と同様、中国農村においても、「新農保」の労働供給抑制効果が存在することが明らかになった。「新農保」の経済評価を行うとき、農村高齢者の老後生活を保障する効果（社会厚生・福祉効果）に注目すると同時に、公的年金が労働供給を抑制する効果が存在することも重視する必要がある。本研究の分析結果によれば、長期的な視点からは公的年金の実施は経済成長にマイナスの影響を与える可能性が存在することが示された。社会福祉と経済成長のバランスを考慮する公的年金制度の設計・実施が重要な課題となることが示唆された。

さらに、Ma and Wang（2023）は「新農保」が出稼ぎ労働者の労働供給に与える影響に関する実証研究も行った。

（3）社会保険負担転嫁効果

中国政府は公的社会保障制度の改革を実施した結果、給与税(payroll tax)としての社会保険料は賃金総額の 40%近くまで上昇した。企業は労働者の賃金を減額することで、これらの社会保険料を労働者に移転する可能性がある。Ma and Cheng（2021）は、独自に実施した中国企業—労働者マッチング調査のデータ（CEES）を使用して、企業レベル（企業の実際社会保険料負担率）と都市レベル（都市社会保険料負担率）の 2 種類の社会保険執行指標を構築し、社会保険料が労働者の個人賃金および企業の平均賃金に及ぼす影響に関する実証研究を行った。3つの知見が得られた。第 1 に、企業の実際社会保険料率は、労働者の個人賃金と企業の平均賃金の両方にマイナスの影響を及ぼす。多くの企業が社会保険料の負担を従業員に転嫁することが示されている。第 2 に、社会保険が賃金に与える影響は企業レベルと都市レベルによって異なる。第 3 に、社会保険が賃金に及ぼすマイナスの影響は、部門やグループによって異なる。たとえば、企業の実際社会保険料率のマイナスの影響は、民間部門の企業、中小企業、労働集約型企業、そして都市部の労働者、教育水準の低い労働者、製造業労働者、事務労働者のほうが大きい。

（4）社会厚生効果

まず、先行研究は、社会保険が健康に及ぼす影響に関する実証研究を行ったが、実証分析の結果は一致していない。その主な理由として、既存研究では、横断的調査データを用いたため、内生性問題に十分に対処していないことが挙げられる。そこで、Ma and Oshio（2020）は、2011 年、2013 年、2015 年に実施された中国健康と退職パネル調査データ(CHARLS) を使用し、動学的固定効果回帰モデルを用いて推定し、中国における 2 つの社会保険制度（新型農村社会養老保険[新農保]と新型農村合作医療制度[新農合]）への加入が中高年者の健康状態（6 種類の健康アウトカム）に与える影響に関する実証研究を行った。「新農保」への参加は一部の健康アウトカムに正の影響を与えるが、その影響が限定であり、特定の年齢および一部の所得グループにのみ観察された。また、「新農合」への参加は健康アウトカムに与える影響が統計的に有意ではないことが明らかになった。これらの結果は、中国農村部の中高年者の健康に対する社会保険のプラスの影響を示す限定的な証拠を提供している。個人のウェルビーイング（社会厚生）へのプラスの影響を高めるために、今後更なる社会保障(公的年金、公的医療保険)政策の改革が実施されるべきであることが示唆された。

Table 1 Estimated associations between participation in social insurance and health outcomes

	OR	95% CI	N
New Rural Social Pension Insurance (NRSPI)			
Self-rated health (SRH)	1.06 [†]	(0.97, 1.18)	18358
Cognitive function (CF)	1.30 ^{**}	(1.10, 1.57)	21714
Mental health prospects (MH1)	0.94	(0.92, 1.12)	20002
Mental health at present (MH2)	1.07 [†]	(0.99, 1.17)	10190
No health problem for working (NHP)	0.95	(0.85, 1.06)	11878
No disease	1.01 [*]	(1.00, 1.03)	21776
New Rural Cooperative Medical Scheme (NRCMS)			
Self-rated health (SRH)	1.01	(0.98, 1.00)	18358
Cognitive function (CF)	0.96	(0.77, 1.20)	21714
Mental health prospects (MH1)	1.02	(0.91, 1.12)	20002
Mental health at present (MH2)	1.07 [†]	(0.97, 1.08)	10190
No health problem for working (NHP)	0.79	(0.65, 0.93)	11878
No disease	0.95	(0.78, 1.16)	21776

Note: * $p < 0.05$, ** $p < 0.05$, † $p < 0.1$. Source: Ma and Oshio (2020).

また、馬(2022)は、中国健康と退職パネル調査のマイクロデータ(CHARLS)を用い、個人間の異質性および逆因果関係による内生性の問題に対処し、「新農合」が中国農村住民の生活満足度を改善する効果は、70–79歳の高齢者グループ、中部地域住民、および高所得層で大きいことを発見した。

参考文献

1. Ma, X. and Cheng, J. (2021) “The Influence of Social Insurance on Wages in China: An Empirical Study Based on Chinese Employee-Employer Matching Data” *Emerging Markets Finance and Trade*, 57(12), 3337–3366.
2. Ma, X. (2020) “The Impact of the New Rural Pension Scheme on Labor Supply of Intra-Household Prime-age Adults in Rural China” *Journal of Chinese Economic and Business Studies*, 18(1), 51–72.
3. Ma, X., and Oshio, T. (2020) “The Impact of Social Insurance on Health among Middle-aged and Older Adults in Rural China: A Longitudinal Study Using a Three-wave Nationwide Survey,” *BMC, Public Health*, 20, 1842.
4. Ma, X., and Wang, W. (2023) “New Rural Social Pension Insurance Scheme and Non-agricultural Employment of Rural Older Adults,” in Ma, X. (Ed.) *Public Pension Reforms in China*. Springer. 143–165. ISBN: 978-981-19-9997-0
5. Zhao, Q., and Ma, X. (2023) “Public Pension and Regional Disparity in Household Consumption,” in Ma, X. (Ed.) *Public Pension Reforms in China*. Springer. 115–142. ISBN: 978-981-19-9997-0
6. 馬欣欣 (2022) 「中国公的医療保険制度の改革とその評価」、『社会保障研究』、第6巻第4号、421–438頁。
7. 王威・馬欣欣 (2021) 「新型農村社会養老保険が中国農村中高齢者の労働参加に与える影響—CHIPs データに基づく実証研究」、『経済志林』、第89巻第4号、437–462頁。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計21件（うち査読付論文 19件 / うち国際共著 4件 / うちオープンアクセス 13件）

1. 著者名 Xinxin Ma	4. 巻 18(1)
2. 論文標題 The Impact of the New Rural Pension Scheme on Labor Supply of Intra-Household Prime-age Adults in Rural China	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Chinese Economic and Business Studies	6. 最初と最後の頁 51-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14765284.2019.1663694	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Xinxin Ma	4. 巻 6(2)
2. 論文標題 The Influence of the Intra-household Bargaining Power Gap on the Happiness of Married Women in China	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Happiness and Development	6. 最初と最後の頁 113-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1504/IJHD.2020.111211	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Xinxin Ma	4. 巻 48(1)
2. 論文標題 Social Participation and Self-Reported Health in China: Evidence from Chinese Middle-Aged and Elderly Adults	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Social Economics	6. 最初と最後の頁 85-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/IJSE-03-2020-0139	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Ma, X., and Oshio, T.	4. 巻 20
2. 論文標題 The Impact of Social Insurance on Health among Middle-aged and Older Adults in Rural China: A Longitudinal Study Using a Three-wave Nationwide Survey	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC, Public Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-020-09945-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Piao, X., Ma, X., Zhang, C. and Managi, S.	4. 巻 2(11)
2. 論文標題 Impact of Gaps in the Educational Levels between Married Partners on Health and a Sustainable Lifestyle: Evidence from 32 Countries	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12114623	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ma, X., Piao, X. and Oshio, T.	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 Impact of Social Participation on Health among Middle-aged and Elderly Adults Evidence from Longitudinal Survey Data in China,	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC, Public Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-020-08650-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ma, X.	4. 巻 -
2. 論文標題 Internet Use and Income Gaps between Urban and Rural Residents in China	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of the Asia Pacific Economy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13547860.2022.2054133	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ma, X.	4. 巻 -
2. 論文標題 Social Insurances and Risky Financial Market Participation: Evidence from China	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Emerging Markets Finance and Trade	6. 最初と最後の頁 2957-2975
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1540496X.2021.2019011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ma, X. and Li, S.	4. 巻 30(1)
2. 論文標題 Self-employment in Urban China: Entrepreneurship or Disguised Unemployment?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 China & World Economy	6. 最初と最後の頁 166-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cwe.12405	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhan, P., Ma, X., Oshio, T., and Mao, Y.	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 The elderly's health capacity to work in China	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 China Economic Journal	6. 最初と最後の頁 77-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17538963.2021.2003534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhan, P., Ma, X., and Li, S.	4. 巻 76
2. 論文標題 Migration, Population Aging, and Income Inequality in China	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Asian Economics	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.asieco.2021.101351	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ma, X.	4. 巻 43
2. 論文標題 Grandchildren Care and Labor Supply of Middle-aged Grandmothers: Evidence from China	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Family and Economic Issues	6. 最初と最後の頁 581-598
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.asieco.2021.101351	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 馬欣欣・小松翔	4. 巻 90(1)
2. 論文標題 所得水準，所得格差と中国住民の主観的 厚生：パネルデータに基づく実証分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 57-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬欣欣	4. 巻 6(4)
2. 論文標題 中国公的医療保険制度の改革とその評価	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 421 - 438
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Ma, X.	4. 巻 80
2. 論文標題 Parenthood and the Gender Wage Gap in Urban China	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Asian Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.asieco.2022.101479	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Matsuura, T. and Ma, X.	4. 巻 23
2. 論文標題 Living Arrangement and Well-being of the Elderly in China and Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Happiness Studies	6. 最初と最後の頁 903 - 948
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s10902-021-00430-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Zhan, P., Ma, X., Mao, Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Educational Disparities in Health Capacity to work of Older Adults: Evidence from CHIPs	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Chinese Economic and Business Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14765284.2022.2103629	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ma, X.	4. 巻 56
2. 論文標題 Internet Use and Gender Wage Gap: Evidence from China	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal for Labor Market Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12651-022-00320-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ma, X.	4. 巻 -
2. 論文標題 Internet Usage and Income Gaps between the Self-employed Individuals and Employees: Evidence from China	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Review of Development Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12651-022-00320-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ma, X.	4. 巻 -
2. 論文標題 Impact of Long Working Hours on Mental Health: Evidence China	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Environment Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/rode.12969	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 王威・馬欣欣	4. 巻 89(4)
2. 論文標題 新型農村社会養老保険が中国農村中高齢者の労働参加に与える影響 CHIPsデータに基づく実証研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 437 - 462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件(うち招待講演 0件/うち国際学会 0件)

1. 発表者名 王威・馬欣欣
2. 発表標題 社会保障政策と中国農村高齢者の主観的厚生：CHARLSデータに基づく実証研究
3. 学会等名 中国経済経営学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 馬欣欣
2. 発表標題 現代中国の教育収益率：メタ分析
3. 学会等名 比較経済体制学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Zhan, P. and Ma, X.
2. 発表標題 Migration, Population Ageing and Income Inequality in China
3. 学会等名 中国経営経済学会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 Li, S. and Ma, X.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 412
3. 書名 Minimum Wage in China: Evaluation, Legislation and Effects	

1. 著者名 Ma, X. and Li, S.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 448
3. 書名 Changing Trends in China's Inequality: Evidence, Analysis, and Prospects	

1. 著者名 Ma, X.	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 246
3. 書名 Public Medical Insurance Reform in China	

1. 著者名 Ma, X.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 180
3. 書名 Female Employment and Gender Gap in China	

1. 著者名 Ma, X.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 308
3. 書名 Employment, Retirement and Lifestyle in Aging East Asia	

1. 著者名 Ma, X.	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 320
3. 書名 Public Pension Reform in China	

1. 著者名 Ma, X., and Tang, C.	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 525
3. 書名 Growth Mechanism and Sustainable Development of Chinese Economy: Comparison with Japanese Experiences	

1. 著者名 Ma, X., and Tang, C.	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 539
3. 書名 Wachstumsmechanismen und nachhaltige Entwicklung der chinesischen Wirtschaft: Vergleich mit japanischen Erfahrungen	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	唐 成 (Tang Cheng) (20424187)	中央大学・経済学部・教授 (32641)	
研究分担者	小塩 隆士 (Oshio Takashi) (50268132)	一橋大学・経済研究所・教授 (12613)	
研究分担者	牧野 文夫 (Makino Fumio) (70190337)	法政大学・その他部局等・名誉教授 (32675)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
中国	復旦大学	経済学院	
中国	武漢大学	経済学院	
中国	中国社会科学院	人口と労働経済研究所	
日本	一橋大学	経済研究所	
日本	中央大学	経済学部	
日本	慶應義塾大学	商学部	
日本	アジア成長研究所		